

## 実社会対応プログラム(公募型研究テーマ)

◆課題(研究領域):「観光の人文学・社会科学的深化による地域力の創出」

◆研究テーマ:「民間所蔵文化財の資源化・流通による学術観光創成の実証的研究」

研究期間:H25.10~H27.9

委託費総額:8,372千円

### <研究代表者>

**安藤美奈**:東京藝術大学美術学部/講師



#### <専門分野>

アートマネジメント、アートマーケティング、文化観光

### <研究計画の特徴>

- 学術の立場からの観光行動の拡充深化  
学術的な視点で評価、整備された場の記憶、地域の歴史を、地域住民を含め訪れる人々に提示、観光行動を起動させる
- 老舗旅館・ホテル等の所蔵資料に着目  
日本の老舗旅館・ホテルが受け継いできた歴史的、芸術文化的資料に、地域との歴史的、現代的関係性に考察を加え、再評価を行う。

### <研究目的・概要>

業態の拡大に主眼をおく観光事業の枠にとらわれない、学術の立場からの観光行動の拡充深化を目指す

「場の記憶＝地域の歴史」の再評価による  
学術観光の創成へ

- 老舗旅館・ホテルの歴史・芸術・文化的資料を、学術の立場から再評価
- アーカイブ化及び観光資源化し、流通させる
- 観光業者との協働、博物館やマスメディアとの協調を探究

学術の観点から観光を深化させ地域力を創出  
文化財の散逸・消失の危険を回避し、  
地域の観光資源としての再評価へ

### <目標とする研究成果>

- (1) 継承されてきた文化財をターゲットとする  
観光行動の創成をめざす

公有化されずに継承されてきた文化財を、芸術文化資源として地域に還元し、地域の独自性を語る背景、要素として活用、観光資源として新たな観光行動を創りだす。

- (2) アーカイブ化し地域の観光資源として活用

様々な地域資源と結びついたアート・イベントをはじめ、文化観光、アート・ツーリズムへの寄与、関連する産業・事業などの活性化に貢献する。自らの地域の文化財に気づき、継承者の役割を認識させることで、さらなる地域の資源や魅力、地域力の創出へとつなげる。